



**Amir Tsarfati**

**2021年1月22日「ゴールに到達」**

— 私達はこの競走の最終段階にあります —

皆さん、おはようございます。イスラエルからドバイ経由でワシントンD.C.に立ち寄って、こちらに来たばかりです。私はあそこに居て、すべて見ました。はい、今メディアが流している、あのワケの分からないことで、電車で轢かれたような気分です。しかし、私は皆さんを、私が来た場所に連れ戻したいのです。なぜなら、エルサレムでは、相変わらず墓は空っぽでしたから。大事なことに戻っていただくため… なぜかと言えば、皆さんが、1月30日のユースイベントの話をするのを聞いていて、今は、1月10日ですが、私達は、すでに息切れしています。ちょうど12月30日、主に促されて、私は、ツイッターで書いたのです。

「もし、あなたがイエスを知らないなら、新年を迎える前に、確実にイエスを知っておいた方が良いでしょう。なぜなら、2021年になると、2020年が、まるでピクニックのように思えるから。」

皆さんは、すでにそう感じていますか？

はい、そうですね。そこで、今日のメッセージは「ゴールに到達する」

皆さんが理解しておられる事を願いますが、私達が生きているこの人生は長い競走です。私達が人生の中で何を経験してきたかに関わらず、私達の周りにはたくさんの競走があって、もう一つの競走も存在します。それに加わるかどうかは私達の選択です。実際、今アメリカでは2つの競走が存在しています。大統領を追い出す競走があり、それから、彼らが間違っていることを証明し、留まるための競走があります。そして、この2つは高速運転の電車です。そして、そこには…何が起こるか知っていますか？まさに。でも、それはあなたがたの競走ですか？ [聴衆：いいえ] はい。では、どれが一番重要なかを理解してみましょう。最も重要な競走とは何でしょう？

「ゴールに到達する」

私は2020年の終わりに、このメッセージに取り組み始めました。とても象徴的だと思ったのです。誰もの人生の中で、最も異常な年の一つが終わりに差し掛かっていましたから。私達は皆、それがどのように始まったかを覚えています。2020年を特徴づけるとすれば、他にもなく、全世界と一緒にこの全貌を経験した事です。おそらく、バベルの塔以来初めて、地球全体と一緒に何かを経験しています。考えてみてください。第一次世界大戦でも、世界のある場所では戦いがあり、別の場所では歌ったり踊ったりしていました。第二次世界大戦中、日本で空襲があり、真珠湾攻撃があった間に、アルゼンチンで人が防空壕に隠れていたと思いますか？いいえ！皆さん、理解してください。世界中で、未だかつて、こんなことはありませんでした。地球上のすべての国が…。COVIDは、ほんの数週間前に南極大陸にまで達したと思います。本当に、地球全体に広がっています。さて、私はここに立って、それがどう始まったのかを何時間でも話せますが、でも、それは重要ではありません。もう存在しています。重要なのは、それが本当に全世界に届いたということ。そして、全世界が同じことに対処しているということです。そして、それが2020年です。それから、どうにか、その解決策を見つけようとする競走でした。すべての国が、それぞれ独自に、すべての国が何か他のものを試しています。誰もが聞いている通り、英国は、もともと自然集団免疫を望みましたが、うまく行きませんでした。誰もが聞いている通り、スウェーデンには、今まで、それがありましたが、昨日の時点で、同様にロックダウンに入っています。誰もが聞いている通り、ある国は他の国よりも上手くやっています。しかし要点は、これは競走なのです。この一年全体が競走でした。しかし私は、イスラエル人として言わなければなりません。2020年の競走の中には、良いことがいくつかありました。私は、それに触れなければ

なりません。なぜなら、神は、まだ御座におられ、そして、聖書は昨日も今日も永遠に同じで、ここにあるすべての約束はまだ有効です。COVIDが、神のいかなる不意も突くことは、ありませんでした。皆さんは、COVIDで、さらなる緊張と戦争が起こり、物事が停滞したと思うかも知れませんが、少なくとも、イスラエルで起きた良いことを、いくつかお見せしたいと思います。

まず、この崩壊しつつある中東の地域に…皆さんは、アメリカやイギリスなどに住んでいるユダヤ人はイスラエルに移住しないと思うでしょう。ところが、記録的な数のユダヤ人が、アメリカやイギリス、その他の場所を離れ、イスラエルに移住したのです。事実、イスラエルが誕生して以来、これまでにないほどの平和協定を結んでいます。73歳の国家が、こんなに多くの平和協定を結んだことはありません。そのうちの4つは、この4か月以内です。アメリカ、フランス、イギリス、ウクライナ、インド、エチオピアからも移民が来ています。ユダヤ人の大群です。皆さん、見てください！彼らは、飛行機から降りて、地面にキスをしているのです。「コロナ渦！」ですか？いえいえ、それは問題ではありません。なぜなら、主が終わりの時、世界の四隅からご自身の民を彼らの故国に連れ戻すと言われたなら、COVIDがそれを止める事はありません。4ヶ月の間に平和協定を結んだ4つの国は、私達を破壊すると誓っていた最前線の国々です。皆さん、それらの国々は、イスラエルとの戦いでは、例えばモロッコのように、それほど有名ではないかもしれませんが、今のモロッコ首相はイスラム同胞団の人間だということをご存じでしょうか？ご存じですか？彼の中では、我々は“滅ぶべき存在”です。しかし、彼の国王が彼に「平和協定に署名しなさい」と言ったので、彼は、そうしているのです。言うまでもなく、サウジアラビアは、長年、国連でイスラエルと戦うあらゆる働きに資金を提供していました。もちろん、テロもありました。しかし、見てください。サウジアラビアは、UAEとバーレーンに「さあ、和平に署名しなさい」と言ったのです。お聞きください。私達は、聖書が「起こる」と告げて来た事を目撃しているのです。COVIDが、それらを止める事はありません。先ほど言ったように、これらは良いことです。

しかし同時に、グローバル化と思考改革（※一種の洗脳工作）の競争は最高潮に達しています。私もそんなに若くはありませんが、歴史上、こんな時代は無かったと思います。現在、膨大な数の人が、どう考え、何を言い、何を言ってはならず、何を見て、何を見てはいけなさを告げられています。皆さんは思うでしょう。時間の経過とともに、テクノロジーがどこでも利用可能になり、こんにち、アフリカの真ん中で、アメリカの多くの場所よりも優れた決済方法があると思います。彼らは、もはや現金すら使いません。全て携帯です。「購入しますか？」「はい。」それだけです。技術があれば、何かを見たり、知ったり、書いたり、言ったりするのを、誰も止めることはできないと思うでしょう。いいえ。いいえ！聞いてください。私は検閲を受けて、この48時間の間に、私のツイッターのフォロワーが8千人も奪われました。なぜ？私は、彼らが私に何らかの恨みを持っていると思って気分を害しましたが、その後、ツイッター上の、全ての保守的なアカウントが抑圧されている事に気付きました。それから、昨日見たのは…実際、マイク・ポンペオ氏が見せていたのですが、すべての民主党の政治家は、何千人ものフォロワーを獲得し、共和党は、何千人ものフォロワーを失っていて、それは捏造されたものでした。ご覧の通り、とても上手く繰り広げられました。まず危機を作り出す。あれは聡明でした。率直に言って、天才的です。彼らは危機を作り出し…私は陰謀論者ではありません。信じてください、私は違います。私は陰謀論を避けています。私は、こういう事から全速力で逃げています。なぜなら、間違っただけに信頼を置くというのは最悪ですから。しかし私はまた、物事がどう起こり、どう始まったのかも知っています。全世界を襲った危機を作り出す為に必要だったのは、“何の罪もない”実験室から、極く小さなものを登場させる。それだけです。そしてその作られた危機がパニックを引き起こし、そしてパニックが起こると、最も簡単に人をコントロール出来るのです。

こちらの知事がしている事は、言うまでもありません。彼は頭がおかしいですね？私の発言で、この教会が大変な事にならないよう願います、私は明日出発しますから…ただ、皆さん理解してください。一旦、これらの問題が出来てパニックになると、今度は解決策を強制して来ます。それが理にかなっているかどうかは問題ではありません。そして、あなたが反対意見を持ったり、反対の見方をすれば、検閲されます。解決策は一つしかありませんから。そしてもちろん、彼らは私達が持っている自由を奪います。もし、それを取り戻したければ、それには条件があって「我々の言う事に従え」

さて、見てください。それが2020年。そして今、2021年に突入しました。国中の至る所で自由が叫ばれていたはずの世界最大の国、自由の国…少なくとも、皆さんはそう言います。全世界に民主主義が何であるかを告げた国、皆さんの修正第一条は、他のどの国にも見られません。この合衆国憲法の条文は素晴らしいものです。それが今、この国では決して我々から奪われる事はないと思っていたものが、毎日、奪われるのを見えています。それは、また別の競走です。しかし私は何よりも重要な競争に皆さんを連れ戻したいと思えます。重要な競争です。ヘブル人への手紙12章1-3節。

**「こういうわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私達を取り巻いているのですから、私達も、一切の重荷とまつわりつく罪とを捨てて、私達の前に置かれている競争を…」 「歩く」ではありません。「…忍耐をもって、走り続けようではありませんか。」 (1節)**

「忍耐をもって。」ヘブライ語とギリシャ語の単語は「我慢強く」ヘブライ語ではנחמנוּס。私達は、忍耐強く走る必要があります。そして、「私達の前に置かれている競走を走らなければならない」と彼は言います。それは、そこにあるのです。向きを変えて逃げる事も出来るでしょう。しかし目の前に置かれています。そこであって、皆さんは走らなければなりません。そして彼は言います。誰から目を離さない？ [聴衆：イエス] **「信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。」**皆さんは、大統領を見たり、軍隊を見たり、ツイッターを見たり、下院議長を見たりしないのです。副大統領を、あなたの救い主として見てはいけません。そうではなく、

**「信仰の創始者であり完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。」 (2節a)**

それから、見てください！走らなければならない理由です。ご覧ください。彼は言います。なぜ、皆さんは、イエスから目を離さないで走らなければいけないのかというと、

**「…イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのゆえに、はずかしめをものともせず十字架を忍び、神の御座の右に着座されました。あなたがたは、罪人たちのこのような反抗を忍ばれた方のことを考えなさい。それは、あなたがたの心が…」**何ですか？ **「…元気を失い、疲れ果ててしまわないためです。」 (2節から3節)**

これは、ほとんど今の私達が目にしていることの描写です。もし今日、私が皆さんに正直に尋ねるならきっと、皆さんはこう言うでしょう。「私は元気を失い、疲れ果てています」なぜなら、これは真実ですから。自分の周りのことを考えて、この競走を走ると、いつも、いつも元気を失い疲れ果てます。もちろん、それは健康にも影響します。それから、信者から身を隠すようになり、“どつぼ”とか、何かに陥って行くのです。そして終わりです。聞いてください、私は皆さんに言います。私達の信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでください。さて、皆さんに質問です。先ほど読んだ御言葉から、イエスは今、どこにおられますか？聖書によると、イエスは今、神の御座の右に着座しておられます。神の御座はどこにありますか？イエスは、そこにおられます。だから、あなたは走るとき、走っているときに、あなたの頭は、どこを見るべきですか？どこに視点を置くべきでしょうか？その通り！周りを見渡すではありません。私の、ユダヤ人の子供として育て、記憶の一つに決して忘れられないのは、ユダヤの例祭にシナゴグに行くと、眼鏡をかけた人達が皆、[ユダヤ教の礼拝の音]そして、皆、周りを見回して[ユダヤ教の礼拝の音]それから、周りを見回して[ユダヤ教の礼拝の音]そこで私は思ったんです。「祈りなのに。彼らは、よそ見ばかりして、全然神様を見ていない。この人たちはどうしたんだろう？」私達は、簡単にそのようなことに陥りがちです。一日中、自分たちの競走を走っています…どうやって？…他の人を見ながら。分かりますか？悲しいことに、私の出身国は…神が彼らにしてくださったこと、今もしてくださっていることを考えると、国民は最も熱心な信者であるはずだと皆さんは思うでしょうが、しかし、彼らが間違ったことに信頼を置くのを見えています。聖書はイスラエルについて述べています。マタイの福音書を開いてみましょう。

**「すると、弟子たちが近寄って来て、イエスに言った。『なぜ、彼ら（ユダヤ人、未信者達）にたとえてお話しになったのですか。』**イエスは答えて言われた。『あなたがたには、天の御国の奥義を知ることが許さ

れているが、彼らには許されていません。というのは、持っている者はさらに与えられて豊かになり、持たない者は、持っているものまでも取り上げられてしまうからです。わたしが彼らにたとえて話すのは、彼らは見てはいるが見ず、聞いてはいるが聞かず、また、悟ることもしないからです。」(マタイ13:10~13)

イエスは意味不明なことを言っています。「聞いてはいるが聞かず、見てはいるが見ず。」さて、これをご覧ください。「こうしてイザヤ(6章)の告げた預言が彼らの上にも実現したのです。

『あなたがたは確かに聞きはするが、決して悟らない。確かに見てはいるが、決してわからない。(14節) この民の心は…』何ですか? 『…鈍くなり、…』心の問題です。イエスはさらに続けます。『…その耳は遠く、目はつぶっているからである。』(15節a) 誰が目を閉じましたか? 彼らが、彼らの目を閉じたのです。『それは、…』何ですか? 『彼らがその目で見、その耳で聞き、(それから?) その心で悟って立ち返り…』(15節b) そして、最も重要なことを悟らないと、どうなりますか? 『わたしにいやされることのないためである。』(15節c)

ほら、神は言われるのです。「わたしを見なさい!」旧約聖書、イザヤ書、主なる神は、イスラエルの民にこう言われます。「周りを見回すのをやめなさい!」「あなたの伝統を信頼するのをやめなさい! 祭司を信頼する事も、伝統で行っているすべての事を信頼するのをやめなさい!」「わたしを見なさい! わたしの言葉を聞きなさい。そうすれば、あなたがたは癒される。」だから、第二コリント3章で、パウロはこう言います。

「このような望みを持っているので、私達(教会)は、極めて大胆に振る舞います。そして、モーセが消え失せるものの最後をイスラエルの人々に見せないように、顔におおいを掛けたようなことはしません。しかし、イスラエルの人々の思いは鈍くなったのです。というのは、今日に至るまで、古い契約が朗読されるときに、同じおおいが掛けられたままで、取りのけられてはいません。なぜなら、それはキリストによって取り除かれるものだからです。」(12~14節)

他の方法でそのおおいを取りのけようとするなら、失敗するでしょう。パウロは、おおいを取ることができる唯一の方法はキリストであると言います。ですから、メシア、イスラエルの王であるイエシュア・ハマシュアに信頼を置かないユダヤ人は誰でも…イエスがシメオンの腕に抱かれたときのことを覚えていますか?(ルカ2:28~33参照) その名は何でしたか? 「異邦人を照らす啓示の光、御民イスラエルの光栄です。」(ルカ2:32) でも、これ見てください! 「しかし、彼らの心は盲目でした…」そしてパウロは言います。

「かえって、今日まで、モーセの書が朗読されるときはいつでも、彼らの心にはおおいが掛かっているのです。」(第二コリント3章15節)

さて、これ、ユダヤ人について、パウロが言っている事をご覧ください。「しかし、人が主に向くなら、そのおおいは、取り除かれるのです。」(16節) そして、ここから移行します。イスラエルの神が、どのようにそれを教会に持っておられるか。パウロはこう言っています。「主は御霊です。そして、主の御霊のあるところには自由があります。(17節) それはもちろん教会で、第二コリント3章でこう言っています。「私達(信者)はみな、顔のおおいを取りのけられて、鏡のように主の栄光を反映させながら、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられていきます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。」(18節)

もし、あなたが、次の事を理解せずに、この競走を走ろうとしているなら…あなたは、個人的に主を知り、主を信じ、主にすべての信頼を置き、主に立ち返らなければなりません。このようなニュースを聞いたとき、あなたは誰を頼りにしますか? テレビのスイッチをオンにするとき…それはお勧めしませんが、誰に頼りますか? [聴衆: イエス!] そうしないと、まさに心が元気を失い、疲れ果てて重くなってしまいます。主がおられるところは自由です。それは御霊です。それが、私が知っている信者の非常に多くが、世界中い

たるところで、同じように、「ああ...何を言っているんだ。まるで明日にでも携挙が起こるみたいに。携挙なんてないよ」と言う人達もいれば、ちなみに、地球上で、“自称クリスチャン”のほとんどが、携挙を信じていません。念のために言っておきますが、彼らは、それが実際に起こるとは、考えていません。彼らは、聖書のすべてを寓話的に見えています。そしてもちろん、他の人はこう言います。「なぜ、人を携挙の事で興奮させるんだ？やめなさい！」私は言いました。「なぜですか？」「そんなにすぐには、起こらないから！」皆さんに言っておきます。神は決して遅れません。神は決して遅れません。面白いと思いませんか？2千年前、イエスが地上を歩まれていた時、主は、誰も見たことのないような形で、神の御言葉を与えてくださったのです。奇跡に次ぐ奇跡、そのまた奇跡…2千年前…使徒の働きを読んで、弟子たちや使徒たちの現実を見てください。かなり驚きです。2千年前、人々はすでにこう言っていました。「ああ、それは起こらないよ。」第二ペテロ3章3～9節。

**「まず第一に、次のことを知っておきなさい。終わりの日に、あざける者どもがやって来てあざけり、自分たちの欲望に従って生活し、（3節）次のように言うでしょう。「キリストの来臨の約束はどこにあるのか。…」」**

「キリストの来臨の約束はどこにある？」なんて、どうして言えるのか？それは、あなたが、何に従っている為？…自分の欲望に従っている。自分の欲望に従って歩んでいる時、一番避けたいのはイエスが戻って来られる事ですよ。だから、それは起こらないと人を説得しようとするのです。さて、これをご覧ください。

**「キリストの来臨の約束はどこにあるのか。父祖たちが眠った時からこのかた、何事も創造の初めからのままではないか。」**こう言い張る彼らは、次のことを見落としています。すなわち、天は古い昔からあり、地は神のことばによって水から出て、水によって成ったのであって、当時の世界は、その水により、洪水におおわれて滅びました。しかし、今の天と地は、同じ御言葉によって、…」何？ 何のためにとっておかれていますか？「…火で焼かれるためにとっておかれ、不敬虔な者どものさばきと滅びの日まで、保たれているのです。」（4節から7節）「しかし、愛する人たち。…」

ペテロは言います。「ほら、彼らは言いたい放題言っているが、神の御言葉のために、この地球はまだ保たれているのだ。」ちなみに、多くの信者が理解していませんが、これが“引き止める者”、または、あなたの中に引き止める者がおられることの本質です。引き止める者。彼はサタンが反キリストを明らかにすることを引き止めているだけではありません。彼は、神の裁きが、あなたに降りかかるのを“引き止めて”いるのです。ヨナがニネベに行ったとき、彼は8つの言葉を語り、ニネベの全都市の民と王、彼ら全員が悔い改めました。聖書は、神が裁きを差し控えたと告げています。そして彼は言いました。

**「愛する人たち。あなたがたはこの一事を見落としてはいけません。すなわち、主の御前では、一日は千年のようであり、千年は一日のようです。主は、ある人たちがおそいと思っているように、その約束のことを遅らせておられるのではありません。かえって、あなたがたに対して忍耐深くあられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず…」（9節b）**これは、皆さんの為です。もし、あなたがカルバン主義なら、この聖句は、あなたのもではありません。「（主は）ひとりでも滅びることを望まず、（何ですか？）“すべての人が”悔い改めに進むことを望んでおられるのです。（8節から9節）

ハバクク書は「この幻は、（何？）…定めの時について証言しており…」（2章3節a）神は「いつ来てほしいか、アンケートに記入してください。」とか、世論調査はしていません。「どのように、わたしに来て欲しいのか？」とか。すでに定められた時があります。主は言われます。

**「…終わりについて告げ、まやかしを言っはいない。もしおそくなくても…」（3節b）**

主は「それを待て。」と仰います。なぜなら…「それは必ず来る。遅れることはない。」(3節b) 現実には、遅くなっていませんが、皆さんは、心の中で思います。「ああ、遅い！もうすでに来ていても良いはずだ！」ですから、主が来られるまで、私達は、この競走の走り方を指示されています。

この競走を、どのように走るか？第一コリント9章24～26節

### 「競技場で走る人たちは、皆走っても…」(24節a)

競技場に入ってきて、ただ歩いているだけの人を見たことがありますか？いいえ！皆、走ります。しかし…パウロが言っていることを見てください。「…みな走っても、賞を受けるのはただひとりだ…」(24節b)そして彼は言います。ただの参加者ではなく、「…ですから、あなたがたも、賞を受けられるように走りなさい。」(24節c)しかし、パウロは言います。ちなみに、それは地上で誰もが貰えるような賞ではありません。彼が言うには「また闘技をする者は、あらゆることについて自制します。」(25節a)さて、彼らは何を求めるためにそれをしているのですか？「…彼らは朽ちる冠を受けるためにそうするのですが、私達は朽ちない冠を受けるためにそうするのです。」(25節b)

パウロは、コリントの教会に手紙を書いて、言っているのです。コリントは、最大の…こんな言葉を使って申し訳ないですが、当時、世界で最大級の売春宿でした。コリント、恐ろしい場所、ギリシャの島々の両側から、はるばるやって来た人々が仕えていたアフロディーテの巨大な神殿がある場所です。そこには予言者のような女性もいて、基本的には売春婦で、人々は「ああ、私は礼拝に来たんだ。」とっていました。突然、すべての男達が崇拜者になりました。彼らは本当にある時点で、それが礼拝の行為だと思っていたのです。パウロは彼らに「こんなことをしてはいけません。そういう事ではない！」と言わなければなりません。

さて、これをご覧ください。パウロは彼らに言いました。

**「ですから、私は決勝点がどこかわからないような走り方はしていません。空を打つような拳闘もしてはいません。」(26節)**

この意味はわかりますか？これはつまり2千年前、ユダヤ人の男が地球上で最も罪深い都市の前に立って、町の人々、全員にこう言っているのです。「私は知っている。私を贖う方は生きておられることを。」  
「彼は、私が知っていることをすべて教えてくださったのです。」彼は言います。「私が走る時、私は確信を持って走ります。私は、どこかも分からず、何をしているのかも分からず、暗闇で空を打つような拳闘はしません。いいえ、違います。私は世の光です。イエスは世の光であり、主は私に言われたのです。あなたがたは世の光です。すべてが光の中にあります。」私は、どこを走るか知っています。私は、どう走るかを知っています。私は空を打つような拳闘はしません。

ピリピ人への手紙3章にはこうあります。「私は、すでに得たのでもなく、すでに完全にされているのでもありません。…」完璧な人は何人いますか？もしもし？私は、いるとっていました。パウロはこう言います。「私は、すでに完全にされているのでもありません。」パウロは中間地点にいました。ピリピ人への手紙では、パウロはまだ中間地点です。まだ、テモテへの手紙まで至っていません。さて、これをご覧ください。

**「ただ捕らえようとして、追求しているのです。そして、それを得るようにとキリスト・イエスが私を捕らえてくださったのです。兄弟たちよ。私は、自分は捕らえたなどと考えることはありません。ただ、この一事に励んでいます。すなわち、うしろのものを忘れ、ひたむきに、前のものに向かって進み、(13節)…目標を目標として一心に走っているのです。」**

…何を目ざして？皆さん、走る時は、どうやって走るか覚えていますか？あなたの頭はどこですか？〔聴衆：上〕その通り！

「…キリスト・イエスにおいて“上”に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目ざして。…」（14節）  
イザヤは40章で次のように述べています。

「主を待ち望む者は、新しく力を得、驚のように翼をかって上ることができる。走ってもたゆまず、歩いても疲れない。」（31節）

それから、どのように走ってはいけないかも、教えています。

さて、私達は、走り方を理解しました。まずは参加しなければなりません。そして、私達は上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目ざして走らなければなりません。では、どのように走ってはいけないか？彼はガラテヤの人達に言っています。彼らは最初はよくやっていたのに、またモーセの律法に戻るようになり、それで救われるかと思っていました。そしてパウロは言います。

「律法によって義と認められようとしているあなたがたは、キリストから離れ、恵みから落ちてしまったのです。私達は、信仰により、御霊によって、義をいただく望みを熱心に抱いているのです。キリスト・イエスにあっては、割礼を受ける受けないは大事なことなく、愛によって働く信仰だけが大事なのです。  
（ガラテヤ人への手紙5:4～6）

そしてパウロは言いました。「あなたがたはよく走っていたのに、だれがあなたがたを妨げて、真理に従わなくさせたのですか。」（7節）つまり、皆さんも、走り始め、しっかり走っていても、イエスから頭が離れた瞬間に、イエスだけでは、もう十分ではなくなり、今や律法を全うして、安息日を守り、これをして、あれをしなければならなくなります。そして、「イエス、プラス（何か）」です。すると、…あなたは、どうなる？「キリストから離れ、恵みから落ちてしまったのです。」あなたが、キリストから離れ、恵みから落ちると、どうなるか？間違った方向に走って行きます。人生は競走です。生きていなければ、皆さんはレースを走れません。もしも？すでにキリストにあって眠っている人たちが、今走っていると思っている人が、どれほどいるのでしょうか？彼らは走っていません。埋葬するとき、それをどのように呼びますか？彼らは埋葬され、それから？…休みます。今、私達は自分たちの目の前に置かれている競走を走ります。

第二テモテ、「神が私達に与えてくださったものは、…」（1:7a）何ですか？「…おくびょうの霊ではなく、力と愛と憤みとの霊です。」（7節b）今朝、皆さんの笑顔を見せてください。今後数日間は、大荒れに荒れるでしょう。ですから、皆さんは、イエスから目を離してはいけません。私が知っていることを、皆さんには伝えませんが、もし、あなたがイエスに信頼を置いていなければ、皆さんは、恐怖に満たされ、皆さんの中には愛もなく、憤みもなくなるでしょう。

「神が私達に与えてくださったのは、おくびょうの霊ではなく、力と愛と憤みとの霊です。ですから、あなたは、私達の主をあかしすることや、私が主の囚人であることを恥じてはいけません。むしろ、神の力によって、福音のために私と苦しみをともにしてください。神は私達を救い、また、聖なる招きをもって召してくださいましたが、それは私達の働きによるのではなく、ご自身の計画と恵みによるのです。この恵みは、キリスト・イエスにおいて、私達に永遠の昔に与えられたものであって、それが今、私達の救い主キリスト・イエスの現れによって明らかにされたのです。キリストは死を滅ぼし、福音によって、いのちと不滅を明らかにされました。私は、この福音のために、宣教者、使徒、また教師として任命されたのです。そのために、私はこのような苦しみにも会っています。しかし、私はそれを恥とは思っていません。というのは、私は、信じてきた方をよく知っており、また、その方は私のお任せしたものを、…」

（第二テモテ1章7節～11節）

さて、これ、ご覧ください。

**「かの日のために守ってくださることができると確信しているからです。」 (12節)**

これ、見てください。競争を、こんな風に走ってはいけません。「よし、競争を走っているぞ..」そしてゴールに直前で、死に、「どうか、メダルをください！」違います！パウロはすでに言っています。ほら、あなた方がした事は全て…ちなみに、キリストのさばきの座の前で数えられるのは、あなたの信仰だけ。他には何もありません。(第二コリント5:10参照) 信仰です。何であれ、神が、あなたに行うように与えられた事を、あなたは信仰を持って行いましたか？いいですか？たとえ、一生涯の内に福音を分かち合っ、人が救われたのが、たった3回だったとしても良いのです。しかし、あなたは信仰を持ってそれをしましたか？いいですね？さて、これをご覧ください。しかしパウロは言います。「**主が、かの日のために守ってくださる。**」かの日…ほら、死は、死ぬ人にとっては、一つのゴールラインに過ぎません。キリストにあって眠った人達は、どうなりますか？聖書はこう言っています。

**「むしろ肉体を離れて…」** 何ですか？**「主のみもとにいる…」** (第二コリント5:8)

「主のみもとにいる」ということは、ゴールしたということです。もしもし？もしもし？あなたが、イエスを目標に走っていて、いま、イエスと一緒にいるなら、それで完了です。彼が天国に立っていて、あなたが彼の周りを走るのではありません。いいえ、やり終えたのです。しかし、パウロ自身は、おそらく彼が死ぬ数日前に人生の終わりに達して、第2テモテに書きました。ここで初めて…私はパウロが大好きです…パウロは初めて、自分の競走が終わりに近づいていることを認めています…彼の言うことをご覧ください。

**「私は今や注ぎの供え物となります。私が世を去る時はすでに来ました。」** (第二テモテ4:6)

あなたはそんなこと、言えますか？いや、あと数秒で死にそうですか？いいえ、でも彼はそうでした。そして言いました。「**私が世を去る時はすでに来ました。私は戦い…**」彼はもう戦っていません。もう終わりです。今やパウロはこう語ります。「**私は勇敢に戦い、走るべき道のりを走り終え、…**」 (7節a) 彼は、すべての書簡を通してずっと、私達に走る方法を教えて来て、ここで初めて、言っています。「私は走っている。私はどこへ向かって走っているか知っている。自分が、どのように走っているかも、知っている」そしてついに、彼が死ぬ前…数時間前か、数日前か、よく分かりませんが

**「私は…走るべき道のりを走り終え、信仰を守り通しました。今からは、義の栄冠が私のために用意されているだけです。かの日には、正しい審判者である主が…」** (7節bから8節a)

ここで正しい神々を探してはいけません。正直に言うと、この前の選挙で皆さんの身に起きたことを一つ特徴付けるとすれば、誰かが、皆さんの司法制度がひどく欠陥だらけである事に気づいたのです。だから、何でもやりたい事が出来る、と。しかし、イエスは、正しい審判者です。「**かの日には、正しい審判者である主が、それ(義の栄冠)を私に授けてくださるのです。」** (8節) いつ？「かの日」です。「かの日」は、パウロにとっての明日ではありません。「かの日…」彼は言いました。「**私だけではなく…**」誰ですか？**「…主の現れを慕っている者には、だれにでも授けてくださるのです。」** (8節b)

パウロは基本的に、こう言っているのです。もしあなたが連れて行かれる事を期待して人生を生きているならギリシャ語で「現れる」とは、「来て、滞在する」ではありません。それは再臨で、別の話です。「現れ」とは、主が私達のために現れてくださるときです。熱心に待っている人たち、主が現れるのを待っている者達、彼らは明らかに連れて行かれます。パウロは言いました。その日、私達は皆、御前に立ち、冠と報酬を授かるのだ。その日、私は自分の冠を授かるのだ。それが、「かの日」です。しかし、パウロは言います。



「終わりの日には、困難な時代がやって来ることをよく承知しておきなさい。そのときに人々は、自分を愛する者…」 (第二テモテ3:1~2a)

ほら、子宮の中で胎児を殺すのに問題がなければ、あなたは自分自身を愛しています。さらにパウロは言います。「金を愛する者」 (2節参照) ワシントンD.C.の政治家の3分の2は、お金が大好きです。全て、彼らが屈している事は、ほとんどがお金に関係しています。勘違いしないでください。昨日D.C.から離陸した時、私は「は〜。ありがとうございます、主よ。」と、あの場所で、私は、今まで感じた事のない悪魔的な存在を感じました。そして…

「人々は…金を愛する者、大言壮語する者、不遜な者、神をけがす者、両親に従わない者、感謝することを知らない者、汚れた者になり、情け知らずの者、和解しない者、そしる者、節制のない者、粗暴な者、善を好まない者になり、裏切る者、向こう見ずな者、慢心する者、神よりも快楽を愛する者になり…」 (2~4節)

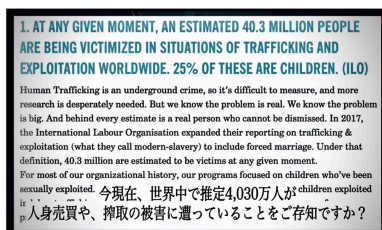
つまり、狂っているのです。第一テモテ4章。

「…御霊が明らかに言われるように、後の時代になると、ある人たちは惑わす霊と悪霊の教えとに心を奪われ、信仰から離れるようになります。それは、うそつきどもの偽善によるものです。(1~2節a) 彼らは良心が麻痺しており…」 (2節b)



それは教会の外からも、教会の中からも来るでしょう。私はそれを「背教」と呼びます。この写真をご覧ください！ネットフリックスの…インスタグラムだったと思います。「Praise Satan (サタン崇拝)」これはネットフリックスです！私が確認したところ137,474件の「いいね」がありました。新シリーズの宣伝です。この2枚の写真をご覧ください。ちなみに、これはカリフォルニアですよ。にっこり微笑んで、「神をカリフォルニアから追い出せ！」「誰もひざまずかない！」「誰もひざまずかない！」ほら、彼らは、神がおられることを知っているのです。聖句を使って、それを逆さにしていますから。今現在、世界中で推定4,030万人が人身売買や搾取の被害に遭っていることをご存知ですか？そのうち、25%は子どもたちです。毎日、1,000万人の子どもたちが世界中で性奴隷となっています。歴史上で、唯一、これについて何らかのアクションを起こした大統領は、今も権力を握っている人です。(2021年1月10日当時)ポートランドの抗議者たちは、連邦裁判所の外で聖書とアメリカ国旗を燃やしました。これで足りなければ、皆さん。ほんの数週間前の、カリフォルニアです。連邦裁判所は、カリフォルニア州知事ニューサムのコマンドを支持し、教会は

引き続き閉鎖され、同時にカリフォルニア州の一つの郡では、COVIDの閉鎖にもかかわらず、ストリップクラブは営業を続けることが可能と裁判官が判決。それでも足りなければ、ご覧ください！米国の薬物過剰摂取による死亡者数は過去最高を記録しました。これは、この国だけではありません。これはほんの一例で、それは世界中で起こっています。世界中です！この3つの画像をご覧ください。「私の中絶は素晴らしかった！ありがとう！」「私は中絶を後悔していない！」「中絶を再び偉大に！(MAGA…)」これは、この国です！ですから、パウロがテモテに警告した、終わりの日の様子がここにあります。ですから、私達には、本当にゴールが見えています。ゴール間近です。ヘブル人への手紙10章、



「こういうわけですから、兄弟たち。私達は、イエスの血によって、大胆にまことの聖所に入ることができのです。イエスは、ご自分の肉体という垂れ幕を通して、私達のために、この新しい生ける道を設けてくださったのです。また、私達には、神の家をつかさどる、この偉大な祭司があります。そのようなわけで、私達は、心に血の注ぎを受けて、邪悪な良心をきよめられ、からだをきよい水で洗われたのですから、全き信仰をもって、真心から神に近づこうではありませんか。…私達は動揺しないで、しっかりと希望を告白しようではありませんか。」（19節から23節b）

ほら、彼らは、皆さんの希望を盗もうとしています。「私達は動揺しないで、しっかりと希望を告白しようではありませんか。」1月20日に、誰が大統領になろうと、イエスは御座に着いておられます。競走を走るなら、皆さんには希望があります。コースに留まってください。

「信仰の創始者であり完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。」（ヘブル12:2）

彼は言います。「約束された方は真実な方ですから、私達は動揺しないで、しっかりと希望を告白しようではありませんか。（ヘブル10:23節）また、互いに勧め合って…」何ですか？分裂じゃなくて、「愛と善行を促すように注意し合おうではありませんか。ある人々のように、いっしょに集まることをやめたりしないで、かえって励まし合い、かの日が近づいているのを見て、ますますそうしようではありませんか。」（24節から25節）

彼はこんな風には言っていない。「そろそろ来る気がする。」「いつか来るかもしれないから、ますます祈ろう。」彼は、こう言っているのです。「その目で、かの日が近づくを見る時代が来る。」

「というのは、すべての人を救う神の恵みが現れ、私達に、不敬虔とこの世の欲とを捨て、この時代にあって、慎み深く、正しく、敬虔に生活し（テトス2:11~12）

何を？「祝福された望み」…そして、栄光ある何？さっき、「現れ」と言ったのを覚えていますか？主が、雲の中に「現れる」

「…大いなる神であり、私達の救い主であるキリスト・イエスの栄光ある現れを待ち望むようにと教えさせたからです。キリストが私達のためにご自身をささげられたのは、私達をすべての不法から贖い出し、ご自分の民を、ご自分のためにきよめるためでした。（13節から14節）

そして見てください。聖霊が、あなたの中で働いていると、どうやって分かりますか？あなたが神ご自身の特別な民であることが、どうすれば分かりますか。どうやって？…「良いわざに熱心」であるとき。「あああ！こいつをやっつけたい！」ん————。どうでしょうね。しかし、その時まで…もう、ゴールが見えています。その時まで…さあ、座って愚痴りましょう。違います！聖書は、第二テサロニケ2章で述べています。

「不法の秘密はすでに働いています。しかし今は引き止める者があって、自分が取り除かれる時まで引き止めているのです。（7節）

言い換えれば、私達は“不法がすでにはびこっている世”に住んでいて、その不法の秘密は、すでに働いています。

「しかし今は、引き止める者があって、自分が取り除かれる時まで引き止めているのです。（7節）その時になると、不法の者が現れます…」（8節a）

その全てに兆候があります。何が起こるか分かりますか？聖書によると

「…彼らは、救われるために真理への愛を受け入れなかったからです。それゆえ神は、彼らが偽りを信じるように、惑わす力を送り込まれます。それは、真理を信じないで…」何を喜んでいましたか？「悪を喜んでいたすべての者が、さばかれるためです。」（10節bから12節）

私達は、熱心に良い事を行う者に、ならなければなりません。彼らは悪を喜びます。正しい人に対する約束、黙示録のフィラデルフィア教会へ。

「あなたが、わたしの忍耐について言ったことばを守ったから、わたしも、地上に住む者たちを試みるために、全世界に来ようとしている試練の時には、あなたを守ろう。わたしは、すぐに来る。あなたの冠をだれにも奪われないように、あなたの持っているものをしっかりと持っていなさい。（黙示録3:10から11）

もちろん、あと2秒で死ぬなら、あなたは、イエスとともにいて、競争を走り終えたんです。良いですね？でも、完走するには、別の方法があります。死ななくても良いのです。

「兄弟たちよ。私はこのことを言っておきます。血肉のからだは神の国を相続できません。朽ちるものは、朽ちないものを相続できません。（第一コリント15:50）聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。私達はみな、眠ることになるのではなく、…」

皆さん、ご自分をご覧ください。死なない人もいます。しかし、「…変えられるのです。」（51節）ハレルヤ！私達はみな、変えられるのです！親指と人差し指で、今すぐ自分をつねってみてください。分かりますか？ほら、皆さんがどう感じようと、私は構いません。皆さんは幕屋であって、建物ではありません。聖書に、そう書いてあります。これは幕屋であって、建物ではありません。15、20年前の、ご自分の写真を隣に置いてみてください。皆さんは死にかけています！パウロは言います。

「終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちにです。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり…私達は（“私達”と言ってください）変えられるのです。朽ちるものは、必ず朽ちないものを着なければならず、死ぬものは、必ず不死を着なければならぬからです。しかし、朽ちるものが朽ちないものを着、死ぬものが不死を着るとき、『死は勝利にのまれた。』とするされている御言葉が成就します。」（52節から54節）

もちろん、これは、イザヤ書25章からの御言葉です。

『死よ。おまえの勝利はどこにあるのか。死よ。おまえのとげはどこにあるのか。』（55節、ホセア書13:14）「死のとげは罪であり、罪の力は律法です。しかし、神に感謝すべきです。神は、私達の主イエス・キリストによって、私達に勝利を与えてくださいました。ですから、私の愛する兄弟たちよ。堅く立って、動かされることなく、いつも主のわざに励みなさい。あなたがたは自分たちの労苦が、主にあってむだでないことを知っているのですから。」（56節から58節）

最後に、皆さんに思い出していただきたいのは、もう終わりです。忘れないでください。皆さんが、イエスから目を離さないで競争を走るとき、パウロは、テサロニケの人々に何と言いましたか？テサロニケの人たちはみな、勘違いし、誤解していました。パウロは携挙について彼らに話しました。そして、テサロニケ教会で人が2人死ぬと、彼らはパウロに手紙を書きました。「ああ！あなたは間違っていた。〇〇が亡くなった。」「ああ！あなたは間違っていた。私達は携挙を逃したと思う！」「私達は大患難の中にいると思う！」パウロは、それを正すために、テサロニケ人への手紙第二を書かなければならぬのでした。彼らは家財道具すべてを売り払い、仕事を辞め、「もう終わりだ」と考えたのです。パウロは言います。「私達は主の御

言葉のとおりに言いますが、…」彼はいつも、自分自身の思いから来たものであれば、「これは主からではなく、私の意見です。」と言い、しかし、何か、主からのものであれば、彼はこう言います。

**「私達は主の御言葉のとおりに言いますが、主が再び来られるときまで、生き残っている私達が、死んでいる人々に優先するようなことは決してありません。」（第一テサロニケ4:15）**

パウロは言います。「キリストにあって死んだ者のために、悲しむな！」なぜか？ なぜなら、

**「主は、号令と、御使いのかしらの声と、神のラッパの響きのうちに、ご自身天から下って来られます。それからキリストにある死者が、まず初めによみがえり…（16節）**

パウロは言います。「どうしてそんなに悲しんでいるんだ？彼らが、先によみがえるんだ！」それから、

**「次に、生き残っている私達が、たちまち彼らと一緒に雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。このようにして、私達は、いつまでも主とともにいることになります。」（17節）そして、「こういうわけですから、このことばをもって、互いに慰め合いなさい」（18節）**

繰り返しますが、ゴールラインとは何ですか？イエスの臨在の中に居る事です。そして皆さん、覚えておいてください。これからの数日間は、この国全体は、大揺れに揺れるでしょう。しかし、覚えておいてください。「**約束された方は真実な方**」です。（ヘブル10:23）そして、競走を走る時は、信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さずに、走ってください。（ヘブル12:2）

そして、皆さん、覚えていてください。携挙のタイミング、その日、その時を、誰も知りません。しかし私達は、“時代と季節”が分かります。そして、私達は皆、同意することができます。今は、“終わりの時代”です。そして、最後に、アメリカ人の皆さんに覚えておいて欲しいのは、これから大変な試練の日々になるでしょう。皆さんの信仰が試されます。覚えておいてください。皆さんがイエスから目を離れた途端に、あなたは元気を失い、疲れ果てます。そんなことをしてはいけません。覚えておいてください。この終わりの時代に、そして、今後、この素晴らしい国に訪れる日々は、誰もが皆さんに注目するでしょう。あなたがたは世の光であり、地の塩なのです。あなたがたこそ違いを生み出すべきなのです。答えを知っているのは、皆さんです。皆さんは福音を聞いた人です。あなたがたは、ご自分の信仰を生きる人です。もし、皆さんがパニックに陥っているなら、もし、皆さんの信仰が不安定であるなら、もし、皆さんが疲れ果てて悩んでいるなら…未信者の人達は何と言うのでしょうか？彼らは皆さんを見ています。ですから、皆さん思い出してください。この暗い日々は、教会にとって光を放つ最高の時代です。ですから、競争を走り終えましょう。ゴールは、もうすぐです。ゴールがどこにあるのか知っています。かの日が近づいてきているのを目の当たりにしています。だから、これから数日の間、この事を覚えていてください。

お父様、イエスが来ると約束して下さったことを、とても感謝しています。イエスは、「わたしはすぐに来る」と言われました。お父様、今、ゴールに近づいていることを感謝します。かの日が近づいているのが見えることに感謝します。お父様、約束して下さった方は真実であることを感謝します。そして、近日中に、お父様、2つの列車がお互いに猛スピードで走っていて、衝突は避けられません。お父様、あなたの教会が大きな違いをもたらしますように。私達全員が堅く立って、強く、動かされることなく、善行に熱心に励むことができますように。私達はあなたの約束に感謝します。今日はカリフォルニア州カスタメサからあなたの御名を祝福します。私達はあなたを愛し、あなたを礼拝し、いつでもここから連れ出してください。心待ちにしています。私達はこの世に属していません。私達の国籍は天にあります。私達はあなたに感謝し、あなたを祝福します。そして、もし今日ここにいる人の中で、目を閉じて頭を下げているので、イエスを個人的な主、救い主として知らない人がいたら、本当に今日ここを去ってはいけません。ネットで見ている人も、ここにいる人も、自分が救われていることを知らずにここを去ってはいけません。ところで、救われた人は、誰でも、自分が永遠の命を持っている事を知っている、と聖書には書かれています。あなた

が本当に完全に主に人生を捧げたことがない限り、あなたの中に、確信はないはずで。私達はこの競走の最終段階にあります。これまで頑張って走って来て、それからキリストから離れ、恵みから落ちてしまうとは、どれほど愚かなことでしょうか。ですから、お父様、もしここにいる人の中に個人的にあなたを知らない人、一度も自分の人生を捧げたことのない人がいたら、その人は、まだ独自の戦いを続けていて、空を打つような拳闘をしているのかも知れません。なぜなら、その人は自分の行く先が見えていませんから。お父様、今日が、その人の救いの日でありますように。その人が悔い改め、告白し、あなたを信頼し、あなたを自分の心にお招きし、その人の内に素晴らしい聖霊の働きを見ることが出来ますように。お父様、今、そのようにしている人たちを感謝します。

イエスの尊い御名を祝福し、お祈りします。

アーメン。



← スマートフォンなどのカメラで読み込むと、YouTubeのメッセージが見れます。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>  
ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル  
<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2021.02.25 (Thu)